

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
11034	言語学B	2単位 後期	1~4	講義	波平 八郎

■テーマ

私たちがふだんものを考えたり、行動したりする際にに基づいているものは根本的にメタファー（隠喩）によって成り立っているということを理解する。

■授業概要

本講義では、言語をおもに意味論のアプローチで概観する。意味論とは、ことばの意味やその変化を研究する分野である。とくに、メタファー（隠喩）の使われ方を具体的に見ていく。

■到達目標

認知言語学の基本的な術語である、「メタファー」、「カテゴリー」、「プロトタイプ」等について、具体的な例をあげて説明できるようにする。

■授業計画・方法

- (1) 履修ガイダンス
- (2) 色彩をあらわすことば
- (3) 認知意味論
- (4) カテゴリー①
- (5) カテゴリー②
- (6) プロトタイプ
- (7) メタファー ①
- (8) メタファー ②
- (9) メタファー ③
- (10) メタファー④
- (11) 生活の中のメタファー
- (12) メタファーと概念の体系性・メタファーが創る新しい意味
- (13) メトニミー・シネクドキ
- (14) メタファー研究の広がり
- (15) 定期試験および解説・まとめ

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

日本語のメタファーまたはカテゴリーについてのレポート（レポート用紙2枚程度）を提出する。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（出席を含む30%）・レポート（20%）・試験（50%）を総合的に判断する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献等

□教科書

なし。授業中に適宜プリント等を配布する。

□参考文献（作品）

- G. レイコフ（池上嘉彦他訳）『認知意味論』（紀伊國屋書店）
 J. テイラー（辻幸夫他訳）『認知言語学のための14章』（紀伊國屋書店）
 佐藤信夫他『レトリック事典』（大修館書店）
 その他

■備考

「言語学B」は、単独での履修も可（「言語学A」を履修していなくても登録可）。